

## 『主よ お言葉を!!』

マタイ8:5~13

### ～聞き、従う事ができますか?～

「日本人は従う事はできる国民性です。しかし聞く事が得意ではありません。表面上、喜んで聞きますが、聞き流している事がしばしばあります。自分に言われている事を自分の事のように真剣に受け止められません。すなわち聞く事ができず、従えません。そのために損していませんか。聞く事と従う事はセットです。聞く気がないのに従う事はできませんし、従う気がないので聞く事もできません。私たちはどちらが弱いのでしょうか。自分は注意、警告、アドバイスを聞く事が嫌なのか、聞いた事を実行するすなわち従う事が嫌でしょうか。結果的には同じ、聞いて従わない人です。百人隊長の僕が病いで歩けない状態にあり、癒しを求めました。百人隊長は神と人との関係を良く理解している人でした。イエスが直接家に行く事を求めず、神の権威の中で“お言葉を下さい”と願いました。ここでいう言葉とはいのちです。ヨハネ 1:1 や天地創造であるように神は言葉を用いました。私たちも、同様に言葉の権威を知り、祈りましょう。今までしていた領収書の祈りの後に、「そうなるようにおっしゃって下さい」とお言葉をもらった百人隊長のように祈りましょう。聞くことができないとユダヤ人ようになってしまいます(マタイ 8:12) 私たちは神に祈った後の答えを聞いていますか。あなたの言葉を下さいと言ってみましょう。自分は間違っていないと認めてほしいだけではないのでしょうか。失敗した時は素直に間違いを聞けますが、成功した時も聞いてください。神様の答えは心の平安です。成功した中でも間違った事をしていたのなら、素直に悔い改めましょう。結果オーライでいけません。百人隊長はイエスからのお言葉で自分の信仰が間違っていない事を知りました。人と会話する時や大きな決断をする時には必ず聞きましょう。私たちの心にはイエスキリストがおられます。その声に耳を傾けましょう。聞く気がないから聞けないのか、他の言葉で打ち消されてしまっているのでしょうか。箴言 1:33 によると主に従うと安全、恐れがない、安心です。私たちの心を吟味してみましょう。私たちが何かをする時に危険があれば御心ではありません。今、倒れそうになっているなら御心でなく、的外れな状態になっています。それは聞けてないからです。ことばはいつも私たちの周りに動いています。いろいろな言葉がありますが選ぶのは私たちの判断です。キリストに聞き従うために**①自分の思いをチェックする**。イエスキリストはどんな方でしょうか。私たちの心に救われた時の喜びがありますか。祈りが始めて聞かれた時の喜びを思い出して下さい。私たちがイエスキリストを小さくしたり、曲がってみていたりすると自分に伝わってくる事も直接ではなく曲がってきます。だから従えないのです。嫌な感情が芽生えたり、耳にうるさく感じるようになります。しかし、イエスキリストは私たちがどうなる事を願っていますか。幸福や繁栄です。それを思い出せば従えます。だから日々新しくなる必要があります。**②1人ではない事**をチェックする。主は共にいます。苦しい時、辛い時こそ、背負ってでも前進させて下さるのがイエスキリストです。無視していると主は背負いたくても背負えませんが、共にいる事に気づいて下さい。いつも側にいて下さいます。そしてすべき事を教えて下さいます。**③ついていく気持ちのチェックする**。私たちもイエスについてくと決断したのです。少し離れて見ようかな～なんて思わないで下さい。ついていくと決めた時の事を思い出して下さい。大変な時もありますが、簡単にあきらめないでついていきましょう。この3つのポイントは聞ければ保証されます。私たちは聞ければついていく事ができます